

製品名: EDG-7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10303**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	LPAR3
別名	LPAR3; EDG7; LPA3; Lysophosphatidic acid receptor 3; LPA receptor 3; LPA-3; Lysophosphatidic acid receptor Edg-7
遺伝子 ID	23566.0
SwissProt ID	Q9UBY5
免疫原	抗血清はヒト EDG7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

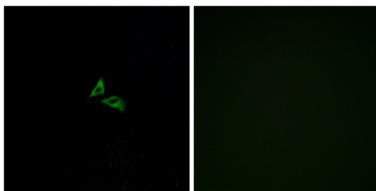
リゾホスファチジン酸受容体 3 (LPAR3) ヒト この遺伝子は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバー、および EDG ファミ

リーのタンパク質をコードしています。このタンパク質はリゾホスファチジン酸の細胞受容体として機能し、リゾホスファチジン酸誘発性カルシウム動員を媒介します。この受容体は主に G(q/11) α タンパク質と共役します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 多様な細胞活動の媒介因子であるリゾホスファチジン酸 (LPA) の受容体。卵巣癌の発生に関与している可能性があります。ヘテロ多価 G タンパク質の G(i)/G(o)ファミリーおよび G(q)ファミリーと共役していると考えられる。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 前立腺、精巣、膵臓、心臓で最も多く発現し、肺および卵巣でも中程度の発現を示す。脳、胎盤、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓、胸腺、小腸、結腸、末梢白血球では検出されない。、

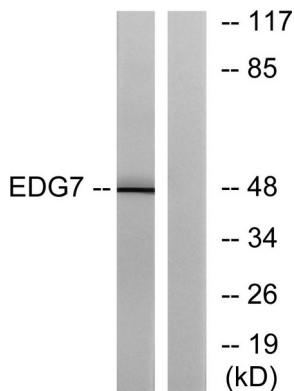
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

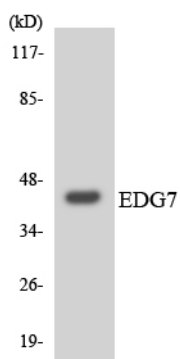
画像データ



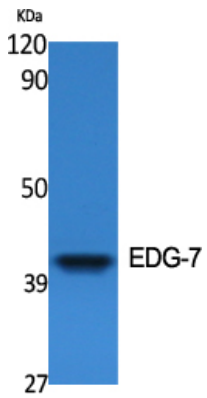
EDG7 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



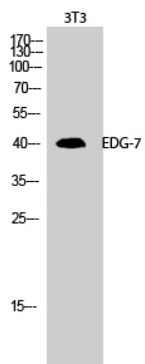
EDG7 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EDG7 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



EDG-7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



EDG-7 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析